(別紙2-2)

事業所名:グループホーム彩友

作成日:平成30年4月29日

2 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】				
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容 目標達成に要する期間
1	1	○理念の共有と実践 理念の見直しを実践し、全職員に同じ理解の支援の実践をおこないたい。	理念に沿った支援の共有が図れる。	・わかりやすく、覚えやすい理念への見直し。 ・会議等で理念の唱和をおこない職員への定着を図る。 6ヶ月
2	35	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 看取りに関しての外部研修・看護師による勉強会を行い、その後の内部勉強会を実施していきたい。	看取りに関しての内容が全職員に周知徹底できる。	・外部研修後の内部勉強会の実施。 ・新入職員への内容の伝達。 12ヶ月
3	37	○災害対策 緊急連絡体制リストの掲示やスタッフへの周知をし、備蓄品の迅速な準備をする。	緊急連絡体制の周知徹底と備蓄品の充足。	・緊急連絡体制リストのスタッフ周知確認。 ・備蓄品の各種点検。 6ヶ月
4	42	○食事を楽しむことのできる支援 食材業者からの食事以外は手作りでメニューを増やしていく。	入居者の方が食事を楽しめる内容を増やす。	・食材業者からの食事メニューを定期的に検討する。 ・昼食やおやつの手作りを増やす。 12ヶ月
5				

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。